

令和2年度王寺町タウンミーティング 10/29 分 質疑応答

○バスケットゴールの設置について

子ども達が気軽に利用できるバスケットボールのゴールがなく困っている。体育施設の利用についても人数の条件があり、子ども達だけで活動するのが難しい。バスケットボールが気軽にできる環境の整備について検討していただきたい。

▼回答【教育長】

王寺町の子ども達がこの町で育って良かったと感じてもらえるような町にしていきたいと考えている。スポーツ種目ごとに様々なご要望があるかと思うので、今すぐにといいことではないが、担当とも相談して、可能なところは改善していく。できることとできないことを精査した上で、最大限の努力をしていきたい。

○王寺幼稚園の跡地利用について

王寺幼稚園は令和4年3月末で廃園とあるが、跡地の利用等は考えているか。

▼回答【副町長】

王寺幼稚園の跡地利用について、現状何も決まっていない。今後町民の皆様のご意見を伺いながら、周辺の地域の考えや、行政にとって必要なものを検討し、議会でも議論しながら決定していきたいと考えている。

○町立幼稚園の園区の見直しの時期について

令和4年4月に再編するのはなぜか。

▼回答【教育長】

行政としても、幼稚園の再編の時期をいつにするのがよいのかということは、色々な方から意見をいただき、幼稚園での教育だけでなく、その後の小学校生活へのつながりを考えれば、できる限り早い時期で義務教育学校校区に合わせて再編を実施することがよいとの方向が示された。

今回各幼稚園で説明をさせていただいている中でも、入園時に説明が無かったという意見は多くいただいている。一方で、義務教育学校校区に合わせた園区の見直しのメリットについては一定の理解を得られたと感じている。

年少の保護者の方については、コロナ対策の影響もあり説明を十分にできていないという現状があるが、今後ご不安をしっかりと受け止め、でき得る限りの対応策

を実施した上で、令和4年度の再編に向けて取り組んでいく。

○義務教育学校にデメリットはないのか？

義務教育学校の設置について、デメリットや懸念事項はないのか。新しい仕組みを実施するにあたり、他の自治体での事例等も教えていただきたい。

▼回答【教育長】

県内では、義務教育学校を設置しているのは過疎地域での小中学校の統廃合が要因で、9年間一貫した教育を行うという主旨で開校するのは、王寺町が初めてである。

ただし、全国的には、300以上の義務教育学校が開校しているが、開校5年後のアンケート調査では、義務教育学校開校前後の苦労を乗り越えてよかったと感じている学校が多くある。

義務教育学校の仕組みづくりには、地域の方、保護者の協力、教員の目的意識の組み立てが重要である。今後ご意見をいただき、しっかりと修正・改善を加えながら良い学校を目指していきたい。

○まちづくり協議会の構成について

まちづくり基本条例素案の第14条第1項に「町民は、一定のまとまりのある地域内において、自治会、住民活動団体、NPO法人及び事業者等の多様な主体で構成されるまちづくり活動を行う組織(以下「まちづくり協議会」という。)を設置することができます。」とある。

具体的には、自治会から数人、各種団体から数人という形で選ばれた方々の組織になるのか。王寺町内には色々な能力をもった住民がおられるので、そういった方々の意見も取り入れながら運営できる組織の方が望ましいのではないかと。

▼回答【総務部長】

現在、地域において、様々な活動団体がそれぞれの目的を持って活動している。また、地域の活動団体が抱える課題として、特定の方への業務の集中、高齢化による問題が寄せられている。

今後は、さらに多くの担い手に参画、協働いただきながら、地域の課題解決やより良いまちづくりを進めていく必要があることから、「まちづくり協議会」の構成員については、既存の団体のみから選出するということは考えていない。

今回の条例では「まちづくり協議会」を設置できると定めているが、協議会の要件、

町としての認定の方法、支援などは、別に定めるとしている。今後、現在活動している団体の方々の意見も伺いながら、王寺町における「まちづくり協議会」の在り方を考えていきたい。

自分たちが町を良くしていくという当事者意識が重要。町民の方々が主体的に取り組んでいける仕組みとなるように検討していく。

○歴史のある街並みの保存について

王寺町の歴史や文化の残る街並みを保存しながら、まちづくりを進めてほしい。

▼回答【町長】

今までの財産を残しながら、いかにしてこれからの需要に応えていくのか、長いスパンでまちづくりを考えていかなければならない。

例えば、久度地区については、歴史のある街並みを残してほしいという声がある一方で、2年前の火災時に消防車や救急車が入っていけないという事例があった。

現状の街並みを残したいが、そのままの形でおいておくのが果たしてよいことなのか、どのように安全を確保しながら次の世代へと継承していくのかというのは議論も分かれるところ。

色々な方の意見を聞きながら、ある一定の時期をもって意見を集約していかなければならない。そのために色々なアイデアを提示し、皆様からのご意見をいただきたい。

○住みこちランキングの評価について

物価、行政サービス等が高評価を受けているが、交通の利便性が低いのはなぜか。また、王寺町は自然豊かな町であるように感じるが、評価が低いのはなぜか。

▼回答【総務部長】

どちらも評価が低いわけではないが、交通利便性について上位に評価されているのは大阪市、京都市、神戸市などの都市圏である。また、「自然・観光」という指標で評価されているのは、和歌山県串本町や白浜町など、いずれも自然の観光資源が豊富な自治体であり、残念ながら今回の調査では、王寺町はそれらの自治体に及ばなかった。

○まちづくり基本条例の内容について

「高齢者にやさしいまちづくり」や、「子育てをしやすいまちづくり」など、明確な目的

を持った上で条例を定めていくべきではないか。今の条例素案では「高齢者にやさしい」という観点が全く感じられない。

▼回答【町長】

「まちづくり基本条例」は、町民と行政の関わり方、町民主体による地域づくり、防災などをどう担っていただくのかなど、王寺町におけるまちづくりの進め方やその中の「町民」「議会」「行政」の役割について定めるものである。具体のまちづくり目標・方向性については、昨年策定した王寺町総合計画をご覧ください。

○畠田駅前バス停の着工時期について

畠田のバス停の整備工事はいつ着工するのか。

▼回答【王寺町理事兼地域整備部長】

現在、工事発注に向け県や関係機関と協議を重ねているところ。協議が終わり次第であるが、できるだけ今年度の着工となるよう進めていきたい。